

◇◇ 大学への若手講師派遣についての報告 ◇◇

①実施した学校及び日程

・立命館大学 理工学部 環境都市工学科
令和7年6月24日(火) 14:55~16:30
受講生：環境都市工学科3回生、134名

・龍谷大学 深草キャンパス
令和7年7月2日(水) 9:15~10:45 13:30~14:45
受講生：深草キャンパス文系 1限目、1回生、135名 3限目、1~2回生、128名

②講習内容

1. 日常を支える地球科学
2. 地質調査業の仕事
3. 地質調査に関する最新の調査技術の紹介

③龍谷大学のアンケートより抜粋

- ・地学は苦手な分野で、地質なんて分からなくても良いと思っていたけれど、思ったよりも私たちの生活に身近なもので、災害対策や街の発達に欠かせない学問だということを知ることができた。
- ・自分が考えていたより“地質”というものは私たちの生活の中に浸透していて、でも今回学んだように地道な調査の繰り返しによって支えられているものなんだと改めて感じました。
- ・地震大国と言われる日本に住んでいるからこそ日常を支える地球科学という分野に興味を持ちました。また、自分たちの仕事だけでなくそれを伝えるために小学校などにも出向き分かりやすく授業を行なっているのもすごいなと感じました。
- ・地質業界のおかげで日々安全に生活できていることを知ることができました。地質業界の発展をAI やドローンが支えていることは知らなかったもので、興味がわきました。これからは、地質業界の方々に感謝しながら生きていきたいと思いました。
- ・私は文系なので、地球科学に関しては、理系とひとまとまりにしてあまり興味を持ってないと感じていました。しかし先生の授業を受けて、地球科学について徐々に関心が湧いてきました。そのタイミングで、今回、地球科学、特に地質についての特別講義ということでも楽しみに受けさせて頂きました。印象的だったのは、ボーリング調査のことです。高校の頃に教科書で読んだきりだったので、改めて目的や仕組みを知ることができて非常に面白かったです。最後にボランティアをされている動画も見せて頂き、会社についてもまたホームページを見てみようと思いを深く思いました。ありがとうございました。
- ・来てくださった講師の皆さんが自分の仕事に対して誇りを持っていると感じた。講義の内容は難しかったが話し方が落ち着いていて分かりやすかった。社歌があることに対しても驚いたし、グランプリに優勝していてすごいとおもった。
- ・地質学の仕事について考えたこともなく、想像ができなかったのもとても有意義な時間になった。
- ・私は別の授業で災害についても学んでいるので、最近「防災」への関心も持っています。そんな中で、まさか地球科学の授業で災害に触れるとは思っていませんでしたが、地層や地質を調査するという点において、確かに地球科学は災害とも密接に関係しているな

と思いました。また、地球科学と聞くと理系のイメージがあり、少し固いような印象があったのですが、多くの社員さんが集まって勉強会をしたり写真を撮影したりしている様子を見て、楽しそうな雰囲気働いている様子が素敵だなと思いました。ただ地層や天気などを観測するだけでなく、それが人々の生活の役にも立っているという一面を知り、将来の選択肢としても考えてみたいと思いました。

◆講義写真



立命館大学講義風景



龍谷大学講義風景

以上